

開催月日 : 令和5年 9月21日(木) 14:00~15:00

第1回 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護医療連携推進会議 議事録

主 催	グッドライフケア24(江東)
2023年度 第1回介護医療連携推進会議について	
1. 開会の挨拶及び出席者の自己紹介	
御多忙の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。2023年度第1回介護医療連携推進会議をZoom(オンライン)にて開催致します。皆様、宜しくお願い致します。	
ご出席者の皆様から一言ずつ自己紹介をしていただく。	
2. 運営状況報告	
別紙のとおり2023年3月から2023年8月までの運営状況報告を行う。	
8月末の時点で13名の方がサービスを利用されている。	
男女の比率はほぼ同率で、80代の方が8名と多い。	
要介護1の方のご利用がなく、要介護度3の中度者が8名と多い傾向にある。	
地域別では江東事業所近辺である豊洲、東雲、辰巳に集中している。	
コール件数は6か月間で毎月5件から15件で推移しているが、実際に随時訪問している件数は少なく、誤報や随時対応(電話対応)で済むことが多い。随時訪問は発生していない。	
要介護度別の定期訪問回数について。	
要介護3の中度者が多い為、訪問回数も要介護3の方が多い。	
稼働件数はこの半年間で13件➡15件と微増である。	
3. 新規利用者様のご紹介	
計画作成責任者より2023年3月から2023年8月までの新規利用者様の紹介を行う。	
別紙資料を参照とする。	
4. ご意見・ご感想・講評など	
意見①: コールを押されるご利用者で頻回に押される方に関しての対応はどうされていますでしょうか？	
また逆に押すことが難しいご利用者の対応はどうでしょうか？	
回答①: 内容を判断して対応しております。一例でございますが、同じ時間に排泄要因でコールがある等の場合はその時間に定期訪問を入れて対応するといったような対応を行っております。	
またコール頻回であるが緊急性が低く、他利用者のサービスに影響が出てしまう場合はコール機の利用を中止させていただく場合もございます。	
認知症がありコール機の理解が難しい方、徘徊がある方などはアセスメントした上で、有効的に定期訪問を設定しご不在・拒否がある時などはサービスの柔軟性を活かして時間をずらして再訪問行う等しております。	

意見②: 定期巡回を依頼される居宅介護事業所は限られていますか？

回答②: 同法人の居宅介護と他社居宅だと4社程から依頼をいただいています。

一度ご利用頂き、再度同じ方からご利用頂くことはあるがPR不足なのか、新規の事業所のご依頼は少ないです。

意見②: 定期巡回を知らなかったり使い方が分からない居宅事業所がいると思います。そういった事業所に対してPRをしてほしい。

意見③: 現在江東区で弊社以外に3社の事業所が定期巡回型訪問介護サービスの事業を行っている
と認識しているが、弊社以外の運営状況を簡単に教えて頂きたい。

回答③詳しくは各事業所のHPにある運営報告等を参照して頂ければと思うが、砂町地区や亀戸地区での
ニーズが増えていると聞いている。1社はまだ開始したばかりなので情報が無い。

感想①: 辰巳地区では現在建て替え中ではあるが辰巳団地というマンモス団地があり、
身寄りのない方や独居で暮らしている方が大勢いるので、定期巡回型訪問介護サービスは
非常に役に立つと思う。

感想②: 塩浜地区で高齢者増えてきており、相談数も増加している。

感想③: 定期巡回を利用するにあたり、アセスメント力・看護との連携が求められる。

退院直後で生活状況が不明な場合に定期巡回で毎日複数回介入することにより、生活リズムが把握できる。

定期巡回で開始し、ご本人の生活リズムが把握できた結果、翌月には訪問介護へ移行したケースもある。

感想④: 定期巡回のメリットの毎日複数回訪問できる事を活用しお薬を確実に服用することで体調が改善されたり
、安否の確認が柔軟にできるなど良さがある。メリット、デメリットはあるので訪問介護との使い分けが重要である。

5. 閉会挨拶

以上を持ちまして第1回介護医療連携推進会議を閉会と致します。

御多忙の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございました。

次回の会議は令和6年の3月を予定しています。

開催方法、開催日時は構成委員の皆さまには改めてご連絡致します。